



ほけんだより



少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子ども達です。4月から新たな気持ちでスタートを切れるように、今から生活習慣をしっかりと見直しましょう！病気やけがに気を付け、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

3月3日は「耳の日」です。今月のほけんだよりは耳掃除についてです。

耳あかの役割

- ①外から異物の侵入や雑菌の繁殖を防ぐ
- ②耳の中のデリケートな皮膚の保護
- ③特有な臭いや苦みで虫よけ

耳掃除はしないほう

がよいの？



答え

耳あかは自然に外に押し出されるものです！！耳あかは、皮膚の表面にある細かな毛の働きで、自然に耳の奥から外へと押し出されていきます。そのため、耳掃除は、入り口付近に見える耳あかを取るだけでいいのです。こどもの耳掃除には、ベビー用綿棒を使用してください。ベビー用綿棒は、子どもの小さな耳の穴にも入りやすく、皮膚を傷つけにくいので、子どもの耳掃除に最適です。

耳掃除によるケガで緊急搬送された人のうち、4割以上が4歳までの子どもです。子どもの耳掃除をするときには、次の4つに注意しましょう。



- (1) 奥まで綿棒や耳かきを入れない
- (2) 子どもに動かないように言い聞かせる
- (3) 耳掃除中は周囲の状況を確認
- (4) 綿棒などは子どもの手の届かないところに保管

基本的にこどもの耳掃除は見える部分だけをさっと綿棒でぬぐうだけで良いとされています。耳あかが溜まってないか心配なら、耳の定期検診も兼ねて、耳鼻科で診察してもらうことをおすすめします。

保育園で思わぬ怪我の原因になる衣類について、ご配慮をお願いします。

スカート付パンツやチュニック、フードのあるものは遊具にひかかったり、友だちにひっぱられたりなどの事故が起きる可能性があります！！こどもたちの安全を守るために衣類を選びましょう！！



お家でいつもと違うこと（嘔吐・熱・咳・元気がない）などありましたら、登園時に口頭で伝えてください。ノートにも記入してください！！お願いします。

2月の感染症
インフルエンザA・B型
感染性胃腸炎